

会 議 要 旨

会議の名称	川越市立川越高等学校教育審議会 第3回審議会
開催日時	令和6年1月17日(水) 午後3時00分 開会 ・ 午後4時30分 閉会
開催場所	川越市立川越高等学校大会議室
会長(委員長・会長)氏名	青木 勇藤
出席者(委員)氏名(人数)	大野 好司、小川 修一郎、木村 昌幸、田中 晃、中村 美穂、長谷部 辰夫、三原 孝志、深野 友也、村上 重仁、高原 央明 (10人)
欠席者(委員)氏名(人数)	蘆田 章吾、永島 慎太郎 (2人)
関係者職氏名	川越市教育委員会教育長 新保 正俊 学校教育部長 岡島 一恵 市立川越高等学校 校長 飯田 敦 教頭 深井 道彦 事務長 松本 秀規
司会職員職氏名	学校教育部 学校管理課副課長 栗田 大悟 学校管理課 副参事 川鍋 寛 副主幹 山中 充 指導主事 宮本 幸二郎
会議次第	<p>1 開会のことば</p> <p>(1) 教育長挨拶</p> <p>(2) 新規委員紹介</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 第2回 審議会(令和5年度第1回 会議の概要報告)</p> <p>(2) 協議事項 入試改革と生徒募集について</p> <p style="padding-left: 2em;">①特色ある入試について</p> <p style="padding-left: 2em;">②地域特別選抜について</p> <p>(3) 今後の教育審議会でも取り上げたい議題</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある普通科の教育と商業を重視した実学教育の充実について ・市内企業、大学等と連携した取組について <p>3 諸連絡</p> <p>4 閉式のことば</p>
配布資料	<p>川越市立川越高等学校教育審議会 次第</p> <p>資料 1 川越市立川越高等学校教育審議会委員名簿</p> <p>資料 2 川越市立川越高等学校教育審議会条例</p> <p>資料 3 川越市附属機関等の会議の公開に関する実施基準</p> <p>資料 4 第2回 審議会会議要旨(令和5年度第1回会議)</p> <p>資料 5 入試改革と生徒募集について</p>

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
司会	1 (1) 新保教育長より挨拶
教育長	教育長あいさつ (別紙)
司会	(2) 新規委員紹介
司会	2 議事進行を青木会長に依頼する。
会長	会議の公開について (傍聴者なし)
会長	資料2「川越市立川越高等学校教育審議会条例」第5条第4項の規定に基づく関係者の市立川越高等学校管理職出席について、諮る。
委員	「異議なし」
会長	議事(1) 第2回審議会(令和5年度第1回会議)の概要報告について、司会から報告。
事務局	資料4「第2回審議会 会議要旨」について(説明)
会長	意見や質問等はあるか。 この内容で承認することでよいか。承認されると、この内容で市のホームページで公開される。
委員	(意見等なし)
会長	異議がないようなので、報告のとおり、会議要旨とする。 議事(2)について、前回の会議で、学校運営の方針についての課題の整理を行い、入試改革と生徒募集について、議論すべき課題となっていた。令和9年度入試から、埼玉県全域で特色ある入試が始まる。それとは別に、本校では地域特別選抜という市独自の入試を行っている。 今回は、①特色ある入試について、②地域特別選抜について話し合う。まずは、①特色ある入試について説明願う。

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>資料5「入試改革と生徒募集について」</p> <p>1 特色ある入試について</p> <p>(1) 埼玉県公立高等学校入学者選抜方法の改善について 部活動の地域クラブ活動への移行等により、生徒の学校内外における活動が今後多様化することが見込まれ、中学教員が生徒の全ての活動を把握するのは難しい状況になることから、中学校が作成する調査書の在り方について、改善が必要な状況であり、令和5年度埼玉県公立高等学校入試者選抜方法改善協議会が実施され、具体的な改善策について検討された。</p> <p>(2) 市立川越高等学校の生徒募集について 埼玉県公立高等学校入学者選抜に則り、市立川越高校において選抜の基本方針等を設定し、生徒募集を行っている。 入学者の受入れに関する方針について、募集人員は、平成24年度入試から普通科140名、情報処理科70名、国際経済科70名、計280名としている。</p> <p>(3) 広島県公立高等学校入学者選抜の実施内容 広島県では、全国に先駆けて入試改革に取り組んでおり、令和5年度から入試制度を大きく変更している。 これまで中学校が調査書に記載していた特別活動の記録や、スポーツ・文化・ボランティア活動等の記録などは、調査書に記載しないこととして、「自己表現」の中で、自分自身をアピールするものである。</p> <p>(4) 関東地方の令和6年度高校入試の状況 埼玉県以外は特色入試等を実施しており、一般選抜と特色選抜を分けて実施しているのは茨城県、栃木県、東京都（推薦選抜）、特色入試は実施するが、1回の入試の中で特色入試を点数化して選抜しているのは群馬県、千葉県、神奈川県となっている。</p> <p>特色ある入試の学校独自の検査について、どのようなものを実施すべきか意見をいただきたい。</p>
会長	市立川越高校から補足等あるか。

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
校長	<p>資料は用意していないが、本校の入試の特色を補足説明する。</p> <p>入試については、埼玉県で中学3年生を対象に入学希望調査を行っている。志願倍率として10月1日と12月15日の調査が新聞に載った。</p> <p>12月15日の調査では、本校の普通科の志願倍率は2.64倍となっており、全県の全学科の1位だった。それから、情報処理科は1.70倍、国際経済科は1.61倍で商業科では、埼玉県で1, 2位となっている。3つの学科とも非常に高い評価をもらっている。</p> <p>この数値の因果関係は分からないが、実施していることを説明する。</p> <p>本校は、学校説明会を8月にウェスタ川越、9, 10月にそれぞれ市立高校の体育館で実施している。3回とも募集をかけてから、あっという間に定員に達した。</p> <p>その他、中学校に、校長、教頭が出向いて学校説明会を合計10回行った。また、中学2年生を対象に中学校6校とオンラインでガイダンスを行った。</p> <p>さらに、小学生を招いての学校説明会も1回行った。92組の募集があり、4つの部門に分かれて、英会話、理科実験、体操、パソコン教室を実施した。</p> <p>校内においては、今年度から入試改善委員会、プロジェクト委員会を立ち上げた。希望で委員を募り会議を実施している。</p>
会長	<p>次の議題の後にまとめて御意見等を願う。</p> <p>2 地域特別選抜について</p>
事務局	<p>地域特別選抜の目的については、文化・スポーツ等に優れた生徒を地域において育成することにより、川越市に誇りを持ち、広く社会に貢献する人材となることを期待する観点から地域特別選抜を実施している。</p> <p>平成24年度埼玉県公立高等学校入学者選抜から地域特別選抜を実施しており、令和5年4月入学生で12年が経過している。</p> <p>当初の目的は、市内中学生率の増加であったが、近年は市内生率25%~30%を推移し、平成24年当初と比べると市内生率は減少傾向にある。</p> <p>川越市内には市立川越高校の他に7つの県立高校がある。いわゆる進学校と呼ばれる高校、専門学科のある高校は市内生率が低い傾向にある。</p> <p>市立川越高校は複数の学科があり、川越駅から徒歩15分とアクセスが良く、約73%の生徒は鉄道を利用し通学しているため、近隣の市町村から多くの生徒が通学している状況である。</p>

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>さいたま市、川口市に比べて、川越市は市内生率が低い状況である。市内生率を増加させる新たな策はあるか意見をいただきたい。</p>
会長	<p>市内生率を増加させる方法はあるか。 校長から補足説明はあるか。</p>
校長	<p>地域特別選抜は、平成 24 年度から始めている。平成 24 年度前は、市内生率が非常に低いことが問題視されていた。</p> <p>市内生率を上げると同時に、部活動、生徒会活動の学校活動に熱心に取り組んでいる文化、スポーツ等の優れた市内生を入学させたいということを目指し始めたと聞いている。</p> <p>開始した時は、40%を超えていたが、徐々に市内生の合格者数は下がっていった。</p> <p>現在、平成 24 年度よりも下がっている状況で困っている。市内生に高い目標を持ってもらい、優秀な生徒に入学してもらいたい。</p> <p>その目的で地域特別選抜が存在しているので、委員の意見を聞いて改善を図っていききたい。</p> <p>中学校長も出席しているので、どのような生徒が受験しているのか聞きたい。</p> <p>また、地域特別選抜について、多角的な意見をもらいたい。</p>
会長	<p>地域特別選抜について御意見等あるか。</p>
大野委員	<p>単純に市内生の比率を上げたいのであればレベルを下げれば良いという部分がある。</p> <p>もしかしたら、川越市は大きな視点を持って、市内生の割合を高くしていくのではなく、世界で活躍するような人材育成をしていくという視点を持ったほうが良いのではないか。</p> <p>これだけの生徒に魅力があるからこそ来てもらっているのは事実である。市立高校は、市内生の割合に拘らなくても良いと思う。商業系だから進学先は専門学校や就職が多いのはわかる。もう少し優秀な生徒が来ていると思うので、結果が出て良いと思う。</p> <p>また、中学校長会の意見も教えてもらいたい。無理をして地域特別選抜を行っているとしたら、改善するべきときに来ていると思う。ある程度の年数を実施し、時代も変わっていく中で、保護者や生徒のニーズに対応していく点では、違う形の選抜方法を地域特別選抜の趣旨を活かし</p>

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
田中委員	<p>ながら改善していくことが考えられる。 ぜひ、中学校の状況も聞かせてもらいたい。</p> <p>市内の中学校長会からの意見を踏まえて話をさせてもらう。現状では、市立高校の人気は高い。希望する生徒は多い。10月の進路希望調査では、2.6倍で、かなり倍率は高い。結局、高い倍率に振り回されて、この倍率だと難しいと思い、志願先を変更する生徒はたくさんいるのが現状である。そうすると、地域特別選抜で出願できないかとなるが、地域特別選抜は、書類を書いて出すのだが、難しいと思い避けている生徒も多い。</p> <p>今年度、本校では希望している生徒は少ない。地域特別選抜に出せばと促すが、出せるだけの状況、条件がないからと、保護者と相談して出願しない。</p> <p>今後、情報提供できるか難しいと思うが、市内生を多く入学させたい場合には、倍率2.6倍のうち、市内では何倍になり、市外では何倍になるのか、提供できると良いと思う。</p> <p>どの中学校でも危惧しているところだと思う。進路指導の中で、市立高校を希望している生徒には、市立高校を促すが、倍率の中で揺れてしまっている現状がある。</p> <p>市立高校に期待することは、大東中学校は隣にフェンスを隔てて川越南高校があり、中高連携をしている。学校運営協議会委員には、川越南高校の校長が委員としている。逆に、川越南高校の評議委員会にも出席している。川越南高校の校長が言っていたのは、川越南高校も学力が高い生徒が入ってくるが、元々、浪人覚悟で入学してくるので、全然勉強をしなかったと言っていた。そこで、進学指導を修正し、この間、東大が出たという話もしていた。現役での、大学の合格率等に力を入れて取り組んできた結果、生徒も変わってきた。現状は、高校3年間で大学を目標に勉強し、大学に合格する生徒が増えた。川越南高校も倍率が高く、優秀な生徒が集まっているので、そのようなことができると思う。市立高校も話があったように、卒業後の進学率も含めて、特進クラス等を新設したりするなど、変えていく必要もあると思う。現状、市内の全ての中学校の意見ということではない。参考にしてもらえればと思う。</p>
会長	<p>受検等の専門的な話で、なかなか難しいと思うが、地域特別選抜について、今後の在り方等について何か御意見等あるか。</p>
長谷部委員	<p>市内生に限定しなくても良いのではという話が出ていたが、そうなる</p>

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>と川越の市立高校の意味がどこにあるのか。市立高校がある存在意義、特色を持たせるということをししないと、県立高校と同じになってしまう。</p> <p>私は、川越市民であり、川越市に住民税を払って、学校が成り立っていると思っている。他の地域から入学しても良いと思うが、他の地域の生徒を主体として考えていくのは違う気がする。</p> <p>今年度も地域特別選抜を実施するのは良いと思う。地域特別選抜で入学してきた生徒の成績が伸び悩んでいるという話もあった。それについては、入学してから学校がどのような教育をするのかで、判断されるべきものであり、今回最終的に特色ある学校独自の検査方法ということで、学校側が特色をどのように持たせたいかで変わってくると思う。進学に向けて力を入れていきたいのであれば、進学に向けての検査方法があり、また、個人の特色を活かしたいのであれば、面接や小論文、個人の能力を図る検査方法もあると思う。</p> <p>市内生に限定しない。進学率もあげたいと広く求めるのか。川越市の中学生を主体的に考え、なるべく合格させるなど、最初に原則として学校がまず意思表示をして、それから特色が加わっていくのではないかと。まずは、学校の方針を決めてもらった方が良いと思う。</p>
会長	他に御意見等あるか。
三原委員	もともと市内生を多く採用したいというのは、どのようなところから出てきた話なのか。市立高校だから、そのような話が出てきているのか。それ以外に市内生を受け入れなくてはいけない理由があるのか。
事務局	市立高校は、市の財政で成り立っている学校として認識している。高校以外に小中学校、特別支援学校も含めて55校抱えているが、川越市民のための学校、川越市の財産である子どもたちをどのように教育していくのか、市立学校もその中の一つである。評判というところでは、市内生に拘らなくても良いというのわからなくもない。一番、最初の原点というところでは、市の学校、市の子どもたちを育成するためにというところがスタートだと思う。
三原委員	埼玉県の高校の入試がどうなっているか分からないが、現在、通学区域は定められているのか。
事務局	現在は、通学区域は定められていない。

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	地域特別選抜が始まる何年か前から市内生が少ないと、議会から要望があったのは確かである。
高原委員	ある程度の比率が望ましいという目標値はあるのか。資料を見ると、川越市は平均値ぐらいになっていると思う。議会が低いと言っているのは、何%が低いのかある程度の目標値があるのか。
大野委員	具体的な目標値はない。
事務局	校長の話にもあったが、30%は低いという考え方からすると、半数近くが望ましい。それは40%が良いというのから推察される。 ただ、具体的な数値があるわけではない。
長谷部委員	川越市民としては、目標値は半分である。市内生が半分ぐらいでないと、市立高校の意味がどこにあるのかということになる。
木村副会長	現在は、授業料は払うのか。
校長	現在は、授業料は無償である。
深野委員	今回、地域特別選抜という課題を解決していく中で、市内生を増加させることで言うと、地域特別選抜を10%と決めている限りでは、市内生の増加はできない。どんなに希望しても28人と決められていたら、市内生を合格させることはできない。そのようなことではないのか。
長谷部委員	地域特別選抜だから、一般で受験すれば関係がなくなる。
深野委員	この地域特別選抜の合格者数を10%ではなく、変更すれば良いと思う。市外生は、近いから受験しているわけではなく、どうしてもその学校に行きたいから受験している生徒が多い。我が子も同じである。どうしても市立高校に行きたいという思いが強い生徒が多いから人気が上がってきた。結局、一般受験をする人数の倍率が高いから諦めてしまっている。地域特別選抜の合格者数の割合を上げることはできないのか。
事務局	これは県教委と取り決めを行った上での合格者数の割合になり、現在

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	のところは変更できない状況である。
長谷部委員	それについては、要望を出さないのか。
会長	地域特別選抜を始めた時、市立高校の入試は、県の入試に準じて行っているのですが、県教委に相談に行って決めた。 新たな策ということで話は進んでいるが、他に御意見等あるか。 市内生の比率以外のことでも結構だが、何か御意見等あるか。
長谷部委員	地域特別選抜の成績が伸び悩んでいるという話があったが、例えば市立高校で補習や夏期講習等を行っているのか。
校長	補習等は、様々な形で行っている。ただ、残念ながら組織的にはできていない。
小川委員	素朴な疑問がある。入学時の倍率が高いのと、卒業時の進路等に差があるように感じる。入学時の倍率が高ければ、優秀な生徒達が本来集まっても良い。大学を希望する生徒が切磋琢磨し、最終的に大学に行くという生徒がさすがに少ない気がする。失礼な言い方だが、何かがあって伸び悩んでいるのか。色々な要因があり、入学時と卒業時の差があるように感じる。
校長	貴重な意見ありがたい。大卒はそのとおりだと思っている。言い訳になるが、1つは、普通科だけではない難しさがある。普通科だけの高校だと、大半の生徒の目標は大学進学になる。難関大学等の志望者は多い。学校一丸となって同一步調でできる。本校は、大学を希望している生徒への補習等が、絶対的に足りていないのも分かる。 国際経済科、情報処理科に在籍していても、大学進学を狙っている生徒もいるし、普通科でも就職、資格取得、公務員を目指す生徒もいる。ある意味、多様な進路があるのも一つの特徴ではある。 ただ、多様な進路の大学進学の部分はあまりにも弱いと感じている。これから様々な方面から全体を高めていきたいと考えている。特に、大学進学に向けて高めていきたい。これが本校の課題だと思っている。本日もたくさん意見をもらったので、今後の参考にしたい。
会長	色々な意見も出たので、事務局でまとめてもらいたい。

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>それでは、議事3、今後の審議会に取り上げたい内容について、事務局から説明を。</p> <p>今後の教育審議会に取り上げたい議題について、前回の会議要旨の13ページで、前回の会議で示した通り、「特色ある普通科の教育と商業を重視した実学教育の充実について」、次回の審議会で話し合いたいと考えている。</p> <p>また、前回の会議で話をした英語力の向上、情報活用能力の育成、部活動の活性化については、すでに様々な取組をしているところであるため、次回以降の議題としては、例えば、「市内企業、大学等と連携した取組について」、協議できればと思っている。</p> <p>さらに、予算がついた場合には、他県への県外視察も予定している。詳細については、次回までに報告をする。</p>
会長	<p>今後の議題については、事務局で精査し、次回の会議までにまとめていく。</p> <p>その他、御意見等あるか。</p>
長谷部委員	<p>基本的な話だが、審議会の話し合った内容は、最終的には答申をするのか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p>
長谷部委員	<p>市立高校の校長の話に、今年度から入試改善委員会、プロジェクト委員会を組んでいるというのがあったが、その委員会等で審議会の話を情報提供できる機会はあるのか。</p>
校長	<p>本校の入試改善委員会等で、審議会の内容を提供していきたいと考えている。</p>
事務局	<p>付け加えて、市教委としては、この審議会については、教育長から諮問させていただき、委員から意見をいただく。最終的に御意見いただいたものに関して、まとめて事務局側で検討し、学校にも指示を出しながら、本会議で検討したものを活かしていきたいと考えている。</p>

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	本日は、様々な角度から、多彩で示唆に富む発言に感謝する。予定の時刻となったので、本日の審議を終了とする。進行を司会に返す。
司会	<p>委員には、審議への協力に感謝する。</p> <p>次回の会議は、令和6年7月10日（水）15時から市立川越高等学校での開催を予定している。</p> <p>以上をもって、川越市立川越高等学校教育審議会令和5年度第2回会議を閉会とする。</p>